

みずほCustomer Desk Report 2016/08/01号(As of 2016/07/29)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	104.47 AUD/USD
TKY 9:00AM	104.83	1.1082	116.06	0.9800	1.3164	0.7511
SYD-NY High	105.75	1.1197	116.99	0.9812	1.3302	0.7610
SYD-NY Low	101.97	1.1072	113.89	0.9636	1.3150	0.7492
NY 5:00 PM	102.04	1.1175	114.17	0.9699	1.3221	0.7605
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.06/11.56		▲25RR	1.190	Yen Call Over	
NY DOW	18,432.24	▲24.11	債券市場			
NASDAQ	5,162.13	7.15	日本2年債	-0.2500	9.7bp	
S&P	2,173.60	3.54	日本10年債	-0.1900	8.0bp	
日経平均	16,569.27	92.43	米国2年債	0.6554	▲5.1bp	
TOPIX	1,322.74	15.74	米国5年債	1.0237	▲6.1bp	
シカゴ日経先物	16,360	▲275.00	米国10年債	1.4531	▲5.1bp	
ロンドンFT	6,724.43	3.37	独10年債	-0.1190	▲2.9bp	
DAX	10,337.50	62.57	英10年債	0.6850	▲2.8bp	
ハンセン指数	21,891.37	▲282.97	豪10年債	1.8730	0.7bp	
上海総合	2,979.34	▲14.98	為替市況	USD/CNH	6.6307	▲0.0305
USDJPY 3M Vol	11.50	▲1.08%		ドルインデックス	95.53	▲1.21
USDJPY 6M Vol	11.36	▲0.49%	商品市況	CRB指数	181.014	1.80
EURJPY 3M Vol	11.63	▲1.37%		NY金	1,357,500	16.30
EURJPY 6M Vol	11.84	▲0.66%		WTI	41.600	0.46
				Dubai Spot	38.68	▲0.96

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月29日	08:30	日 全国CPI/コア/コアコア(前年比)	6月 -0.4%/-0.5%/0.4%	-0.4%/-0.4%/0.5%
		日 日銀金融政策決定会合/展望レポート公表	-	-
	15:30	日 黒田日銀総裁会見	-	-
	18:00	欧 消費者物価指数(HICPコア)・速報値(前年比)	7月 0.9%	0.8%
	18:00	欧 GDP・速報値(前期比/前年比)	2Q 0.3%/1.6%	0.3%/1.5%
	18:00	欧 失業率	6月 10.1%	10.1%
	21:30	米 GDP/個人消費・速報値(前期比)	2Q 1.2%/4.2%	2.5%/4.4%
	21:30	米 雇用コスト指数	2Q 0.6%	0.6%
	22:30	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁講演	-	-
	22:45	米 シカゴ購買部協会景気指数	7月 55.8	54.0
	23:00	米 ミシガン大学消費者信頼感指数・確報値	7月 90.0	90.2
7月30日	02:00	米 カプラン・ダラス連銀総裁講演	-	-

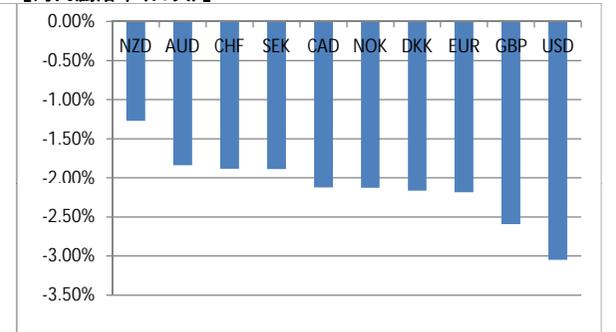
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月1日	10:15	米 ダドリー・NY連銀総裁講演	-	-
	10:00	中 製造業PMI/非製造業PMI	7月 50.0/-	50.0/53.7
	10:45	中 財新・製造業PMI	7月 48.8	48.6
	17:00	欧 製造業PMI・確報値	7月 51.9	51.9
	22:45	米 製造業PMI・確報値	7月 52.9	52.9
	23:00	米 建設支出(前月比)	6月 0.5%	-0.8%
	23:00	米 ISM製造業景況指数	7月 53.0	53.2

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】

ドル円相場は朝方に特段の材料ない中で105円台前半から103.30まで急落したが、すぐに104円台後半まで急反発し、東京時間104.83レベルでオープン。日銀の金融政策発表に対する警戒感が強まる中、日経平均株価が軟調推移となったことに加えて、月末絡みの円転ローが意識されたこともありドル円はストップを巻き込んで103円台半ばまで下落。その後は瞬時105円ちようどを付けた後すぐに104円台前半まで下落するなど、日銀の金融政策発表を控えて神経質な動きが続いたが、「日銀が追加緩和を決定」とのヘッドラインが伝わると一時105.75まで急騰。しかし、追加緩和の内容がETF購入額の増額にとどまり、市場予想よりも小規模なものとなったとの見方からすぐに反落に転じ、一時102.71まで急落する非常に荒い値動きとなった。その後は日経平均株価が下落幅を縮小させる動きとなるドル円もやや水準を戻し103円台を回復。じり高推移が継続し、結局103.55レベルで海外市場へ渡った。(東京15:30)

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
通貨ペア	101.00-103.50	1.1050-1.113	112.50-115.50
想定レンジ			

【マーケット・インプレッション】

先週金曜のドル円相場は円買い優勢の中、大きく下落する展開となった。東京時間朝方から日銀の金融政策決定会合を控えてチョッピリな値動きとなる中、屋過ぎに発表された追加緩和策がETFの買い入れ増額を中心としたものに留まり、市場予想対比小粒だったことから、円買いが進行。加えて海外時間に発表のあった米第2四半期も市場予想を下回ったことを受けて利上げ観測が後退、一段の円買いが入り、約3週間振りに101円台を付けた。その後はドルがやや買い戻され、102.06で引けている。先のFOMC声明文は年内利上げを否定するものではなかったものの、米経済の成長率の鈍化が示される等、利上げを巡る先行き不透明感は依然として強い。本日は7月の米ISM製造業景況指数の発表を控えるが、結果次第では一段の円高リスクの可能性は否めない。

東京	ドル円は朝方に特段の材料ない中で105円台前半から103.30まで急落したが、すぐに104円台後半まで急反発し、東京時間104.83レベルでオープン。日銀の金融政策発表に対する警戒感が強まる中、日経平均株価が軟調推移となったことに加えて、月末絡みの円転ローが意識されたこともありドル円はストップを巻き込んで103円台半ばまで下落。その後は瞬時105円ちようどを付けた後すぐに104円台前半まで下落するなど、日銀の金融政策発表を控えて神経質な動きが続いたが、「日銀が追加緩和を決定」とのヘッドラインが伝わると一時105.75まで急騰。しかし、追加緩和の内容がETF購入額の増額にとどまり、市場予想よりも小規模なものとなったとの見方からすぐに反落に転じ、一時102.71まで急落する非常に荒い値動きとなった。その後は日経平均株価が下落幅を縮小させる動きとなるドル円もやや水準を戻し103円台を回復。じり高推移が継続し、結局103.55レベルで海外市場へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、103.55レベルでオープン。東京時間には、日銀追加緩和への失望から売られたものの、欧州勢参入後は、値ごり感も意識され103.98まで上昇。その後は、103円台半ばでの小動きしとなり、103.34レベルでNYに渡った。ユーロは、堅調に推移、1.1088レベルでオープンすると、ユーロ圏CPI速報値(結果:前年比0.2%上昇、予想:前年比0.1%上昇)や、ユーロ圏GDP速報値(結果:前年比+1.6%、予想:+1.5%)が予想を上回ったことや、ストレートの結果発表を前に欧州銀行株が回復したことを受け、1.1114まで上昇し、ほぼ同水準でNYに渡った。ポンドドルは、1.3193レベルでオープン、30億ユーロの増資が盛り込まれた伊銀救済案(伊紙報道)を受け、金融株が上昇し、ポンドドルも1.3213まで堅調推移。しかし、本邦製薬会社の英国研究拠点の閉鎖や、英6月住宅ローン承認件数が、昨年5月以来の水準に低下したことが嫌気されると、1.3153まで下落し、1.3177レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	日銀金融政策決定会合でETF購入の増額が発表されドル円は105.75まで戻したものの、一部ではこれ以上の金融緩和を期待する向きもあり、失望感やイベント終了後の利益確定の売りもあり、102.71まで反落し、103.34レベルでNYオープン。朝方は、米第2Q・GDPが1.2%と市場予想2.5%を大きく下回り、前回分も1.1%から0.8%へ下方修正されたことが嫌気されたこと等から102.62まで下落。その後米7月シカゴ購買部協会景気指数が予想を上回ると103.03まで買い戻される局面もあったものの、続いて発表の米7月シカゴ大学消費者信頼感指数は予想とほぼ一致する一方、1年後の期待インフレが前回の2.8%から2.7%へ下方修正されたことや、株式市場が軟調に推移する展開に上値の重い展開が続く。その後は株式市場が下げ渋る一方、米金利が低下する展開にドル売りが強まり、ドル円は一時101.97まで下落する。終盤に掛けては、週末を控え閑散な取引が続く中、安値圏での推移が続き、102.04レベルでクロスした。一方、ユーロドルは、海外市場でドル円が下落する動きを受け、下値をじりじりと切り上げ、1.1114レベルでNYオープン。朝方は弱い米第2Q・GDPの結果を受けたドル売りに1.1197まで上昇。午後に入り一旦1.1155まで小緩む局面もあったものの、その後も米金利低下を受けたドル売りが継続したことからユーロドルは底堅い推移が続き、1.1175レベルでクロスした。(NY 00531 113 682井上)

担当:末木・森谷